

## 編集後記

編集委員／ティアック株式会社

吉田 穰

9月号からJASジャーナルの編集委員に参加し、今回初めて編集後記を書かせて頂くことになりましたティアックの吉田です。新製品の企画開発をしています。

今年の冬は記録的な暖冬、少雪となり、1月の中旬になってもまだ3割のスキー場が営業できていないという、例年になく異常気象を感じさせる冬となっており、読者の皆様の中にはグレンデの積雪情報を見てはため息をつかれた方も多くいらっしゃるかと思います。

1月号は、「ウィーンフィルニューイヤーコンサート - 中継・録音プロジェクト」、「ダミーヘッド応用技術セミナーの後編」をはじめ、「1bit研究会」、「学生の制作する音楽録音作品コンテストの受賞レポート」、「CES」など新しい年の幕開けにふさわしいボリュームのある記事が多く収録された号となりました。どれも読み応えのある記事ではなかったでしょうか。

個人的にはマルチチャンネルの録音/再生について改めて考えさせられる号になりました。特に、学生の制作する音楽録音作品コンテストの受賞レポートは、私も授賞式に参加し、作品を試聴させていただきましたが、学生ならではの柔軟な発想で制作された作品に、目から鱗が落ちる思いをしました。中でもマルチチャンネル 96kHz/24bit の作品は印象深く（最優秀作品の“ダムリバー”には驚嘆させられました）、今まで録音作品を聴いて味わったことのない感動を覚え、授賞式から帰る道すがら、自宅にマルチチャンネルシステムを導入できないかと真剣に考えたほどです。もっとも、手狭な拙宅のリビングでのスピーカーの配置、配線、仮に置けたとしても、0歳と2歳の息子達からいかに機材を守るか、そして妻をどう説得するかなど解決すべき課題は山積ですが。

今後こうした、一人の生活者そして音楽愛好家としてのオーディオへの興味関心や問題意識、最新の技術や市場動向をリンクさせて、魅力あるジャーナルを発行できるよう編集作業に携わっていきたいと思います。

☆☆☆ 編集委員 ☆☆☆

(委員長) 松岡 文啓 (三菱電機 (株))

(委員) 大久保 洋幸 (NHK 放送技術研究所)・吉田 穰 (ティアック (株))

仲田 剛 (三菱電機 (株))・春井 正徳 (パナソニック (株))・細谷 耕佑 (三菱電機 (株))

村田 明日香 (シャープ (株))・吉野 修一 (NTT 未来ねっと研究所 (株))

ご意見・ご要望・ご質問はこちらまで：[jas@jas-audio.or.jp](mailto:jas@jas-audio.or.jp)

発行人：小川 理子

一般社団法人 日本オーディオ協会

〒108-0074 東京都港区高輪 3-4-13

電話：03-3448-1206 FAX：03-3448-1207

URL：<http://www.jas-audio.or.jp>